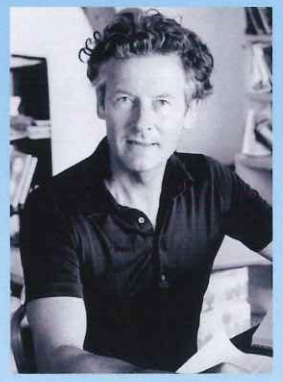
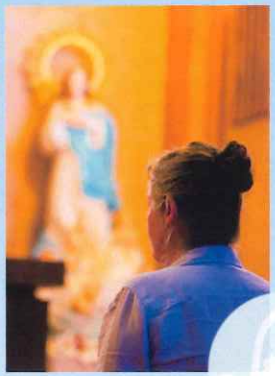
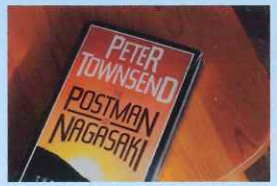
映画「長崎の郵便配達」(97分)

文部科学省選定
(青年、成人、家庭向き)

父から娘へ、そしてあなたへ贈る平和のメッセージ



『ローマの休日』のモチーフになったといわれるタウンゼンド大佐が長崎の少年に出会い、生まれた物語

はじまりは1冊の本だった。著者はピーター・タウンゼンド。戦時中、英空軍のパイロットとして英雄となり、退官後はイギリス王室に仕えた。エリザベス女王の妹であるマーガレット王女と恋に落ちて結婚を約束したが、周囲の猛反対で1955年に破局。この世紀の悲恋は世界中で話題となり、映画『ローマの休日』のモチーフになったともいわれる。
その後、世界を回り、ジャーナリストとなった彼が、日本の長崎で出会ったのが、谷口稜曄(スミテル)さんだった。16歳の夏、郵便配達の途中に被爆し、背中に大やけどを負いながらも生還。生涯をかけて核廃絶を世界に訴え続けた谷口さんを、タウンゼンド氏は取材し、1984年にノンフィクション小説「THE POSTMAN OF NAGASAKI」を出版する。
映画『長崎の郵便配達』は、タウンゼンド氏の娘であり、女優のイザベル・タウンゼンドさんが、父親の著書を頼りに長崎でその足跡をたどり、父と谷口さんの想いを紐解いていくドキュメンタリーだ。

父が綴った平和の大切さを伝えるラブ・レターを今度は娘がポストマンとなって世界へ届ける

川瀬監督は、谷口さん自身からこの本の復刊にかける熱意を聞き、さらに、父の意志を受け継ぎたいと願うイザベルさんと出会ったことで、映画の制作を決心した。2017年、谷口さんが突然帰らぬ人となり、プロジェクトは一時中断しかけたが、奇跡的にタウンゼンド氏の取材テープを発見。天からふたりに導かれるようにして歩みを進めていった。
2018年8月、長崎。イザベルさんは本をなぞり、時に父のボイスメモに耳を傾けながら、スミテル少年が毎日歩いた階段や神社、そして被爆した周辺などを訪ね歩く。また、長崎のお盆の伝統行事、精霊流しでは谷口さん家族と一緒に精霊舟を引いた。旅の終わりに彼女が見る景色とは——。
「核兵器」という言葉がリアルに響く今この時こそ、平和の願いを誰かに"配達"してほしい。父から娘へのメッセージは、今、あなたの元へと届きます。

監督・撮影:川瀬美香　構成・編集:大重裕二　音楽:明星/Akeboshi
エグゼクティブ・プロデューサー:柄澤哲夫
プロデューサー:イザベル・タウンゼンド、高田明男、坂本光正　プロダクション・アシスタント:坂本育美
企画制作:ART TRUE FILM　製作:長崎の郵便配達製作パートナーズ
出演:イザベル・タウンゼンド、谷口稜曄、ピーター・タウンゼンド

©The Postman from Nagasaki Film Partners

longride.jp/nagasaki-postman

(上映時間:92分)

読谷山焼 北窯

松田米司 まつだ よねし

1954年 沖縄県読谷村に生まれ
1973年 那覇市 石嶺窯にて修行
1992年 松田共司、宮城正享、與那原正守と読谷村字座喜味に読谷山焼北窯を開窯
1999年 日本民藝館展奨励賞
2013年 英国 St. Ives Ceramics個展
2016年 北窯25周年

ドキュメンタリー映画

あめつちの日々

沖縄の焼物には無限の魅力がある。
陶工たちは自然と向き合い、体を駆使し、島の土はうつわになる。
個人はいらない。ひたすら手を動かせば、沖縄の色、模様、形になる。
暮らしを潤すものになる。
1972年沖縄本土復帰後、文化を旗印に再生した沖縄本島読谷村。
かつての不発弾処理場は、沖縄文化を象徴する"やちむんの里"として生まれ変わった。
そして92年、松田米司ら四人の若者が夢を託した北窯が、5年の歳月をかけて誕生。
古き良き沖縄の姿をとどめるその窯は、健やかに力強く「今」が鼓動している。今が伝統となる。

ストーリー

沖縄県読谷村やちむんの里。六十を超える窯元が集まり、焼き物作がさかんな地区である。四人の親方で営む共同窯「北窯」もここにある。
親方の一人 松田米司。工房では使うための器、伝統工芸品が今日も作られている。故郷 沖縄の土で粘土を作り、自分たちの窯で焼く。
その伝統的スタイルは、かつての風景と変わらない。
とは言え、多くの問題もある。途絶えた伝統技術、そして地元の白土が入手困難になりつつあること。
親方は資材調達のために国内外問わず探し回り、今日はベトナムへ向かう。
それは次世代へ伝統を継承するためでもあり、それは新しい伝統工芸のあり方かもしれない。
ベトナムの新しい土で焼き上げたやちむんたち。それは伝統になるのか?
戦争で失われた島の伝統、近くにある米軍基地、毎年やってくる激しい台風。
そんなことは「なんてことない」という強さを持った琉球人たちがいる。

生まれた島の土との出会い
職人になって、琉球人として生きる

松田米司 / 読谷山焼 北窯 / 尾久彰三 / 仲里香織 / クライヴ・ボウエン / 山内徳信

〈スタッフ〉プロデューサー 高田明男 / 監督・撮影 川瀬美香「ドキュメンタリー 紫」/ 構成編集 大重裕二
音楽 明星 Akeboshi「恋人たち」/ 題字 ロ リレイ / 2015年 / 92分 / デジタル / ビスタ / 5.1ch / 製作配給: Art True Film

Art True Film

essay.tokyo/tsuchi/